

- 1 私たちは本当に食事を楽しみました。  
2 そして店員はすべて素晴らしく、親切でした。  
3 ありがとうございます。何をお飲みになりますか。  
4 紅茶を一杯お願いします。  
5 イギリスのなにか良いお茶はありますか。  
6 イギリスの紅茶ですか。もちろんです。  
7 それにあのケーキもとてもよさそうに見えます。  
8 どうぞいくらかお試してください。  
9 このレストランはイギリス出身の家族でやっています。  
10 私たちはここでは最高のイギリス紅茶とケーキだけをお出ししています。  
11 こんにちは、私はセーターを探しています。  
12 私たちにはいくつかの新しい青いセーターがあります。  
13 ひとつお試しになりませんか。  
14 ありがとう、でも私はピンクのを探していました。  
15 私にいくつか見せていただけますか。  
16 かしこまりました。  
17 ピンクには二つのスタイルがあります。  
18 これがひとつのスタイルであれがもうひとつです。  
19 私は両方好きです。  
20 今ひとつ買います、もうひとつはあとで。  
21 「私のアメリカ横断旅行」マリア  
22 私は夏休みの間家族と一緒にアメリカを横断して旅行しました。  
23 私たちは車で行きました、そして途中多くの町や市街で止まりました。  
24 それぞれの場所で私たちは2日か3日滞在しました。  
25 私のお気に入りの町はレバノンと呼ばれています。  
26 そこに居る間に、アメリカのちょうど中心にあるレストランで昼食をとりました。  
27 昔々、長いたびの途中の3人の男が居ました。  
28 かれらはとても疲れていて空腹でした。  
29 彼らは休みを取って何か食べたいと思いました。  
30 結局彼らは小さな寂しい村に来ました。  
31 外には誰も居ませんでした。

- 32 男の一人がひとつの家にやってきて、ドアをノックしました。
- 33 「こんにちは。どうか私たちにいくらかの食べ物をくださいませんか。
- 33 私たちはとても遠くの国から来ました。」
- 34 しかし、だれもドアに答えませんでした。
- 35 彼らはもう一軒の家を試しました。
- 36 この家は最初の家よりもとても大きかった。
- 37 コン、コン。
- 38 だれか家にいますか。私たちを助けていただけませんか。
- 39 また、返事はありませんでした。
- 40
- かれらはもう一軒、もう一軒試しました、しかし誰もかわいそうな男たちにドアを開けるものはいませんでした。
- 41 村の人々多くの食べ物を持っていなかったのです、自分たちの分さえ。
- 彼らは見ず知らずの者たちに食べ物を無駄にすることはしたくなかったのです。
- 42
- 43 立ち去る代わりに、旅行者たちは村の真ん中の地面で火を焚きました。
- 44 彼らの一人が石を拾い上げて大きな声で言いました。
- 45 「これは特別な石です。私たちは今石のスープを作ります。
- 46 どなたか私たちにそれをその中で作るためのなべを貸していただけますか。」
- 47 人々は思いました。「何だろう。私はそんなものを聞いたことはありません。どうやって石と水からスープを作れるのだろう。」
- 48 始めは、人々は家の中に留まっていました。
- 49 しばらくして、一人の女の人が好奇心からドアを開けました。
- 50 そして、彼女はなべに水をいれて火のところに持っていきました。
- 51 男はその女性にお礼を言ってなべを火にかけました。
- 52 そして彼は水の中に石を落としました。
- 53 しばらくして、男はスプーンを出してスープを味見しました。

- 54 5, 6人の人々が家から出てきて、彼を見つめ始めた。  
55 「うーん、このスープはおいしい。」男はいいました。  
56 「しかし少し塩が必要だ。そうすればスープはもっとよくなる。」  
57 もう一人の女の人が彼女の家にもどって行って塩の入った  
58 つぼを持って帰ってきました。  
59 男はその女性にお礼を言ってスープにいくらかの塩を入  
60 れました。  
61 そして男はまたスープを味見しました。  
62 「うーん、とても良い。しかし、いくらかの野菜が必要だ  
63 。そして、スープはもっとよくなる。」  
64 一人の少年が二つのジャガイモ、一つのたまねぎ、そして  
65 いくらかのキャベツを持ってきました。  
66 そして、男はいいました。  
67 「ちょっとの肉が必要だ。」  
68 一人の年老いた男が彼の家からいくらかの肉を持ってき  
69 ました。  
70 男は老人にお礼を言ってまたスープの味見をしました。  
71 そして、男はいいました。  
72 「とても良い。しかし、少しの小麦粉が必要だ。そうす  
73 ればスープは完璧になる。」  
74 村はいまやスープの良いにおいで一杯でした。  
75 全ての村人がなべの周りに集まっていました。  
76 男は調味料を頼み続け、彼の周囲の人々はそれらを運び続  
77 けました。  
78 ついに、石のスープができました。  
それは本当においしいものでした。  
人々は火の回りに座りスープを楽しみました。  
彼らは幸せに座り、一緒に食事をしました。  
村人と男たちはお互いに微笑みあいました。  
食事のあと、3人の男は人々に感謝し、村の長の男にその  
石をあげました。  
今日、多くのポルトガルのレストランで石のスープを食べ  
ることが出来ます。  
失礼します。

- 79 私はこの携帯電話を先週買いました、しかしカメラが動きません。
- 80 ちょっとお待ちください。
- 81 それを調べます。
- 82 はい、カメラは故障です。
- 83 申し訳ありません。
- 84 それを新しいものと交換できますか。
- 85 もちろんです。レシートはありますか。
- 86 はい、ここに。
- 87 同じ種類がよろしいですか。
- 88 新機種が昨日到着しました。
- 89 ちょっとお待ちください。
- 90 それは同じ値段ですが、カメラはよりよいものです。
- 91 ああ。それでは新しいほうを希望します。
- 92 承知しました。